

本町における地域公共交通の現況について

■ 令和3年12月末時点

1 概要

(1) 名鉄バス

① 西春・空港線（西春駅⇔名古屋空港）

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前6時台～午後10時台	36往復 ※4便*	30分間隔 (昼間時)	100円～350円
土・休日		31.5往復		

※朝2便、夕方2便の西春～名古屋空港間のノンストップ便

② 県営名古屋空港線（名鉄バスセンター⇔栄⇔名古屋空港・あいち航空ミュージアム）

時間帯	本数	運行間隔	運賃
午前6時台～午後5時台	名駅発5便 空港発4便	1便／2～4時間	600円～700円

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、8/26より当面の間、全便運休中

(2) あおい交通

① 名古屋空港直行バス（名古屋駅前⇔県営名古屋空港）

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前6時台～午後10時台	37便 ^{※1}	2～4便／時間	100円～700円
土・休日		38便 ^{※2}	1～3便／時間	
		3便 ^{※3}	1～3便／時間	

本数※1：名古屋駅→あいち航空ミュージアム（エアポートウォーク北）、うち8便は勝川駅行

※2：名古屋空港→名古屋駅

※3：あいち航空ミュージアム（エアポートウォーク北）→名古屋駅

② 名古屋空港直行バス（栄⇔愛知県庁前⇔あいち航空ミュージアム（エアポートウォーク北））

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前8時台～午後4時台	3往復	1～4時間に	600円～700円
土・休日			1便程度 (昼間時)	

本数※あいち航空ミュージアム（エアポートウォーク北）発便は栄→愛知県庁前

③ 幸田・勝川線（豊山幸田⇄勝川駅前）

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前6時台～午後10時台	22便 ^{※1}	1～3便/時間	100円～300円
土・休日		16便 ^{※2}		
		5便 ^{※3}		

本数※1：豊山幸田・名古屋空港→勝川駅、うち土・休日は4便減

※2：勝川駅→豊山幸田・名古屋空港、うち土・休日は3便減

※3：勝川駅→名古屋空港・エアポートウォーク北

(3) とよよまタウンバス

① 北ルート（小牧市役所前⇄北部市場東）

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前7時台～午後8時台	8便	1便/時間	100円～300円
土・休日	午前9時台～午後4時台	4便	1便/時間	

② 南ルート（航空館boon⇄名古屋栄）

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前6時台～午後10時台	14往復	1便/時間	100円～500円
土・休日	午前9時台～午後6時台	8往復	1便/時間	

(4) 名古屋市営バス

① 黒川11号系統（黒川⇄北部市場）

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前6時台～午後8時台	14便 ^{※1}	1～2時間に 1便程度 (昼間時)	均一制 210円
		11便 ^{※2}		
土曜日	午前6時台～午後7時台	10便		
休日	午前7時台～午後7時台	9便		

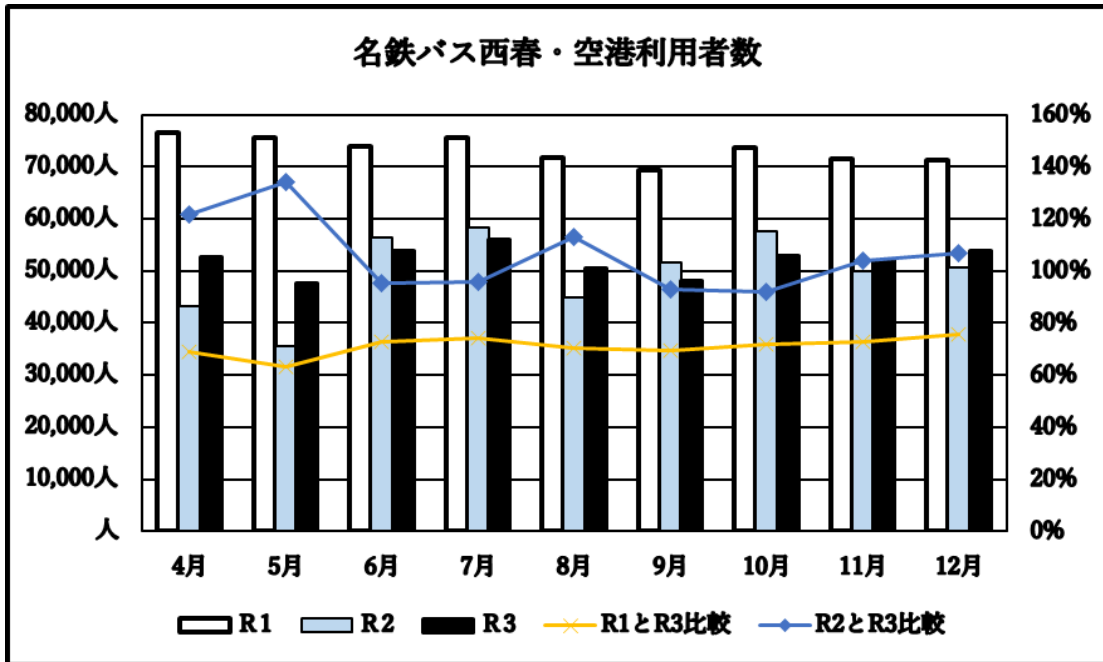
本数※1：黒川→北部市場、※2：北部市場→黒川

2 利用者数

(1) 名鉄バス

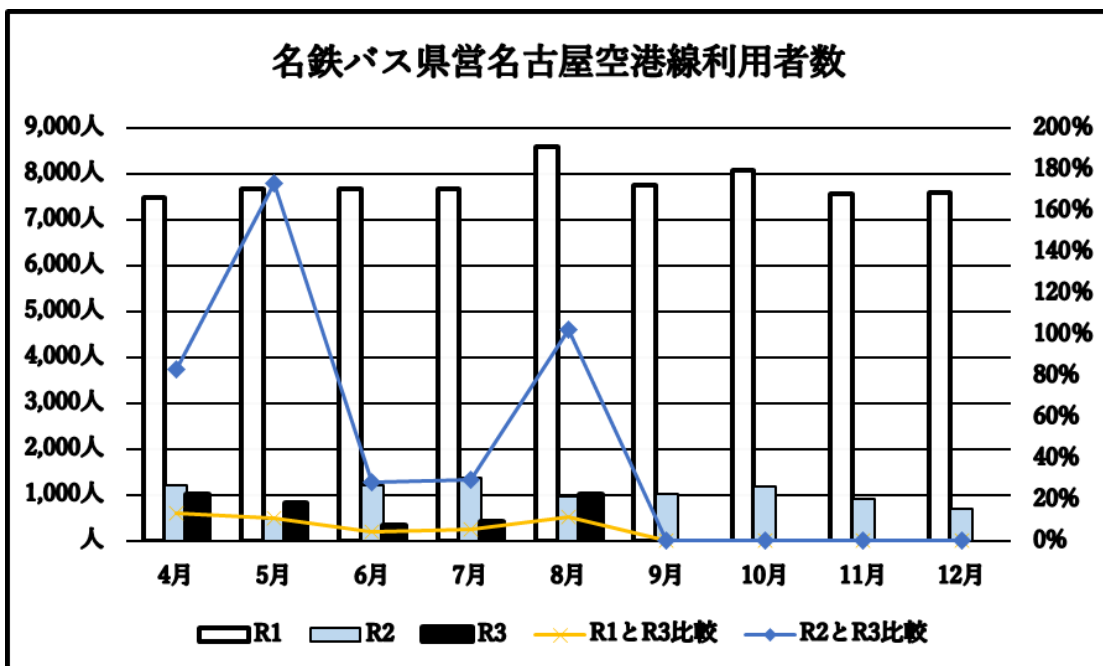
① 西春・空港線

10～12月の利用者数は50,000人を超えており、特に11月、12月の利用者数は昨年度より増加している。コロナ禍以前の令和元年度と比較すると、利用者は7割程度である。



② 県営名古屋空港線

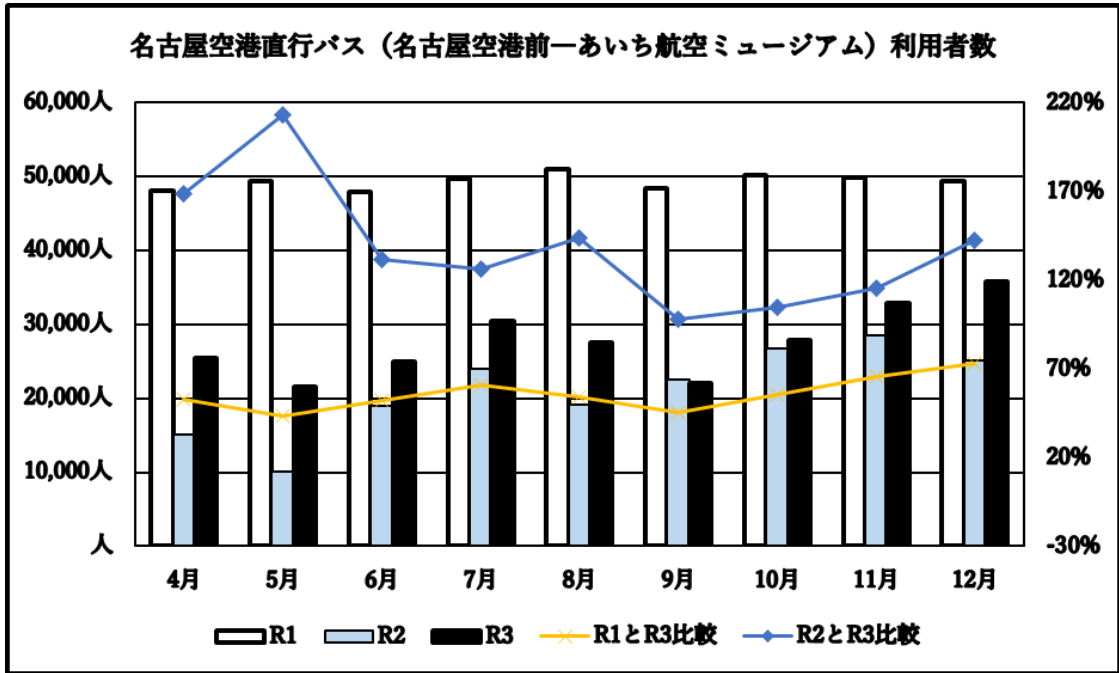
令和3年8月21日から当面の間運休中である。



(2) あおい交通

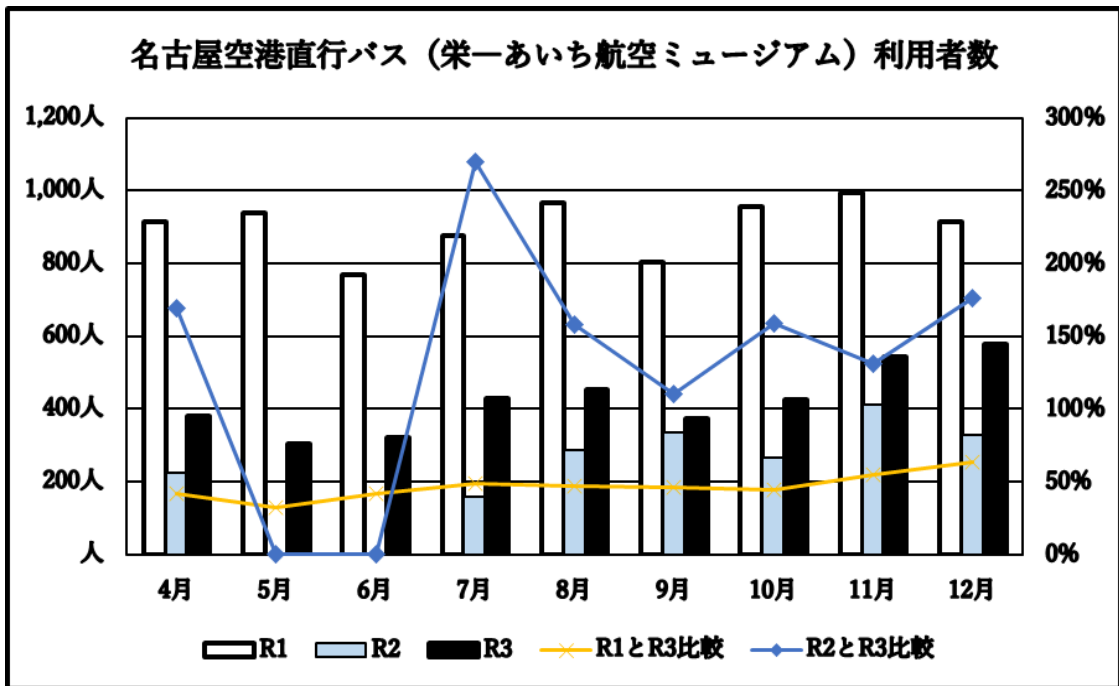
① 名古屋空港直行バス（名古屋駅—あいち航空ミュージアム間）

10～12月は前年度と比べると利用者数は増加しており、特に12月利用者数は35,000人を超え最多となっている。コロナ禍前の令和元年度と比較すると、利用者は5～7割程度である。



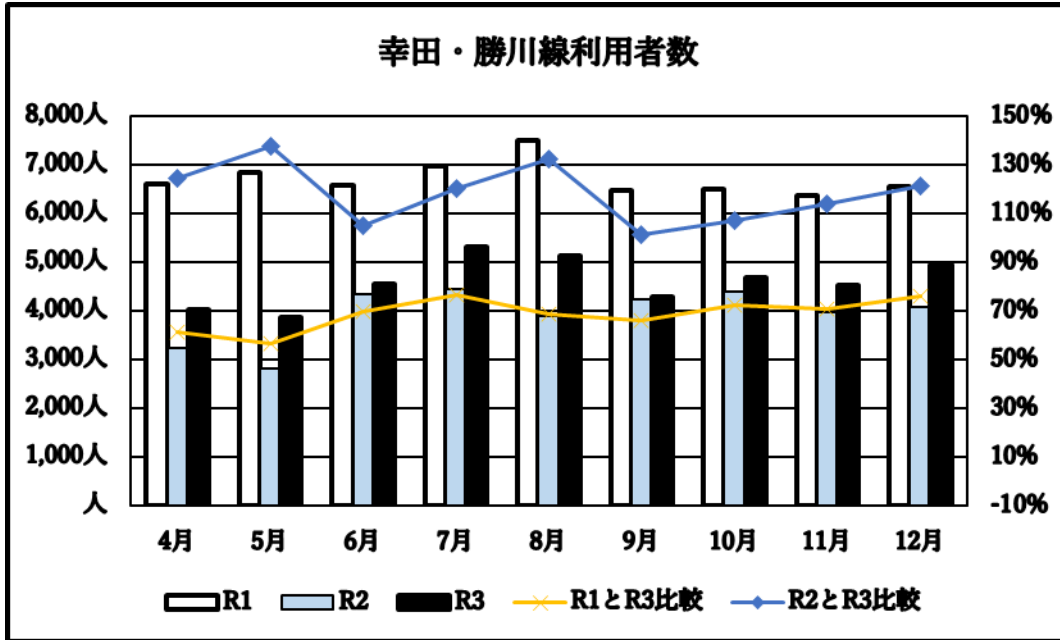
② 名古屋空港直行バス（栄—あいち航空ミュージアム間）

いずれの月も前年と比べると利用者数は増加しており、12月の利用者数が最も多く、579人であった。令和元年度と比較すると、利用者数は5割程度である。



③ 幸田・勝川線

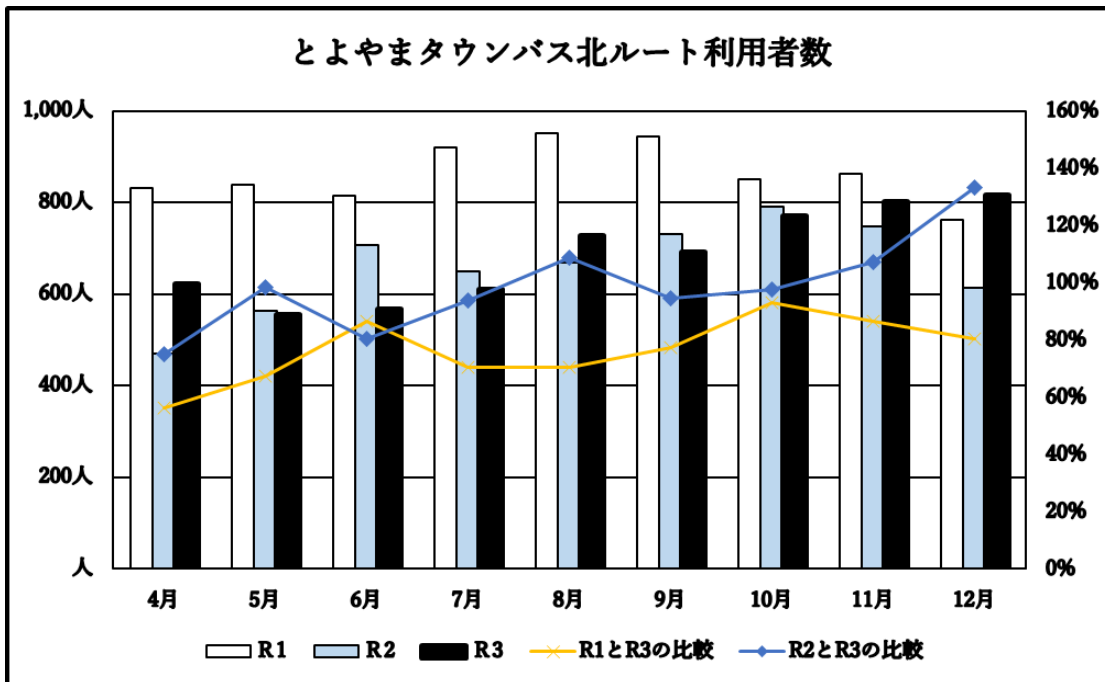
いずれの月も前年と比べて利用者数は増加している。10～12月は前年の同月と比較して1～2割程度利用者が増えている。コロナ禍前の令和元年度との比較では、利用者数は7割程度である。



(3) とよやまタウンバス

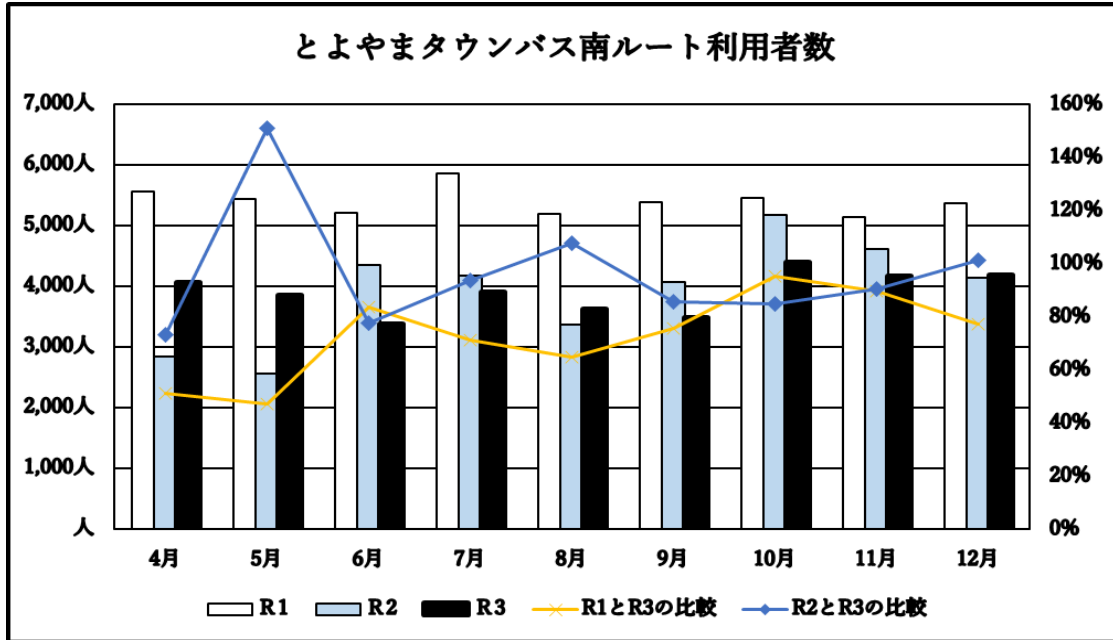
① 北ルート

10月～12月は前年同月と比べて利用者数は増加しており、11、12月の月々の利用者数は800人を超えている。特に、12月の利用者数が最も多く、817人であった。令和元年度と比較すると、利用者数は6～8割程度である。



② 南ルート

10月の利用者数が最も多く、4,393人であるが、令和元年度、令和2年度の同月と比較するといずれの利用者数を下回っている。令和元年度と比較すると、利用者数は5～9割と月によりバラつきがある。



(4) 県営名古屋空港利用者数 (FDA、通勤定期運航) (参考)

前年と比較して9月を除き、利用者数は増加しており、特に11、12月は利用者数は60,000人を超えている。令和元年度と比較すると、利用者数は3～9割とバラつきがあるが、9月以降は回復傾向にある。

